

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	S さん（仮名）		
所属	文 学部		
留学先機関名	ボン大学（部局間協定校）（国名： ドイツ ）		
留学先所属	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ アジア 学部・研究科） <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2017 年 9 月 - 2018 年 8 月	留学開始時 学年	3 年次
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input type="checkbox"/> 有 種類()	<input checked="" type="checkbox"/> 無	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 場所(外国人局)	<input checked="" type="checkbox"/> 現地
必要書類、手続き 手続きに要した期間	<p>必要書類：住んでいる寮の確認書、仕送りなどの生活費が確認できる銀行口座の証明書、熊本大学からの派遣証明書（英語版）</p> <p>手続き：申請者が多いため事前予約が必要、外国人局で手続きを行った後二三か月後にビザカードをもらいに行く、手続き料 100 ユーロ</p>				
ビザ申請以外で 必要な事前手続き					
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語	<input checked="" type="checkbox"/> 独語	<input type="checkbox"/> 仏語	<input type="checkbox"/> 中国語	
	<input type="checkbox"/> 韓国語	<input type="checkbox"/> その他 ()			
勉強方法	主に、大学のドイツ語教材を用いて、また、単語を中心に勉強した				
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	<p>必要書類：留学願い、留学希望理由、ドイツ語授業時間証明書 通年授業の引き継ぎ願い等（熊本大学宛）</p> <p>後日、派遣先の大学より受け入れ証明を受け取る 派遣先の大学から提出書類が送られてくるのでメールで提出する</p>				
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input type="checkbox"/> 寮費	敷金 410 ユーロ	
	<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円	
	<input type="checkbox"/> ビザ申請	円			
	渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道		<input checked="" type="checkbox"/> 往復)	20 万円	
	海外旅行保険料			円	
	<input type="checkbox"/> その他 ()			円	

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	ルフトハンザ	手配	HIS ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	関西空港→フランクフルト	到着時刻	現地時間：13時頃 【※移動時間（約 12時間）】
大学（寮）への 移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	空港駅はわかりやすいが、日中は利用客も多く、座席予約（5ユーロほど）が望ましい。乗り換えはなく、フランクフルトからボン駅まで二時間ほど。片道なので日本円にして約2000円。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他（ ）	住居 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他（ ）
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 その他（ ）	ルーム メイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他（ ）
住居の申込手順	留学前に大学よりメールが届くので、希望（シングルか共有かなど）を記入し送るだけ。振り分けは大学側が行う。		
住居でのトラブル および解決方法	実際に住んでみて寮を変えたい場合は引っ越しも可能。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	バス。 学期が始まる前に支払う生徒証代 280ユーロで州内の公共交通機関（新幹線以外）が乗り放題になるため、実質タダ。		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 13万円/月（134円/ユーロで実質約1000ユーロ） （生活費内訳） 住居費：205ユーロ/光熱費： 円/通学費： 円 食費：約2万円/通信費： 円/書籍代： 円 その他：（ケータイ代） 15ユーロ （健康保険） 89ユーロ ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 円 （徴収された費用の名目： ）		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	銀行口座：チューターと支店に行って一緒に手続きをした。必要書類は居住確認書類とパスポート、学生証 simカード：スーパーで購入。手続きはチューターに手伝ってもらいながら行った。全てWeb上での手続きだった。途中、電話での確認作業も必要だった。 健康保険：保険会社で手続き。カードの身分写真は自分で撮影してメールで送る。 小包受け取り：日本からの一番最初の荷物は必ず税関に送られるため取りに行かなければならない。荷物が多い場合は空のスーツケースを持っていくと持って帰るのが便利。		

3. 留学先の大学について

授業（カリキュラム）の概要について	<p>10月から冬学期が始まり、9月はオリエンテーションコース（振り分けは留学前のWeb診断テスト）</p> <p>熊本大学とボン大学は学部間協定のためドイツ語クラスは希望者の多いネット申し込み</p> <p>講義はアジア学部の日本に関する授業や興味のあるテーマの講義の聴講など</p>
履修登録の時期 登録方法	<p><input type="checkbox"/> 渡航前 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ （10月頃）</p> <p><input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 志願書類の提出</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>
留学生特例措置 （履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等）	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り（具体的には以下のとおり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学間協定や JYP の留学生と同じドイツ語コースは受けられない ・ 事前オリエンテーション（9月、3月）、参加は自由 ・ 学部間協定の場合、チューターは一人につき3人 ・ <p><input type="checkbox"/> 無し</p>
留学先大学でのサポート体制について （語学面／学校生活／住居・日常生活等）	<p>チューターにもよるが、ほとんどの場合、チューターの全面サポート、日本語専攻の学生だったの日本語も話せた</p> <p>学部間留学生担当の先生もあり、単位認定時の仲介も行う</p> <p>全体の留学生サポーターは学生が運営する International Office</p>
留学開始後に行った留学先大学の手続き （学生証、履修登録、大学IDの設定等）	<p>学生証：期限内に半学期分の280ユーロを支払うことで、後日郵送されるので一部を切りなはして利用する（紙）、また、学生証明で州内の公共交通機関は新幹線以外乗り放題なる、大学IDも同じ紙に記入されている</p> <p>履修登録：ネットではできないので日本人留学生担当の教授の許可証をもって、とりたい授業の教授に直接お願いする</p>
授業外活動について （サークル、部活、インターン、フィールドワーク等） ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に	<p>ボン大学の Hoch Schule Sport に参加</p> <p>サークル活動のようなもの</p> <p>友人から教えてもらい女子サッカーに参加（熊本大学でも女子サッカー部に所属していたため）、一般人も参加できるが学生だと安い（15ユーロ/半学期）、ネット申し込み</p> <p>週に一回、初心者でも参加できた</p> <p>ボン市内の Europa Macht Schule に参加</p> <p>現地の Gymnasium で自分の母国についての紹介授業を行う実践型のプログラム</p> <p>日本人に誘われて二人で参加</p> <p>合わせて3回の授業を行い、現地の小学6年生と福笑いや折り紙、お好み焼き作りなどをした。授業内容は担任の先生と話し合いながら決めた。プログラムの最後には参加者みんなで成果発表を行った。最後に一人、60ユーロ支給される。授業で使う資材代は学校より支給される。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00			↓ 翻訳授業 (村上春樹)	↓ 言語学			
11:00			↑	聴講 ↑			
12:00		↓	↓ 翻訳授業 (経済)		↓ Tandem		
13:00		Tandem (Josi, Marcel)	↑		(Jenny) ↑		
14:00		↑	↓ ドイツ語 B1	↓ Tandem	↓ Tandem		
15:00	↓ 経済予習		↑	(Vincent) ↑	(Ziwen) ↑		
16:00	↑			↓ ドイツ語 B1			
17:00				↑			
18:00	↓ Vokls Hoch Schule	↓ Hoch Schule Sport					
19:00	ドイツ語 B1 + ↑	女子サッカー ↑					
20:00							
21:00		授業予習					
22:00		↓					
23:00		↓					
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学成果

留学を終えて、実践的なドイツ語が使えるようになったのは、何よりも話す機会が増えたからである。行った当初は、基礎の文法でも聞きとれなかったり、とっさに話せなかったりしたが、ドイツ語の授業やタンデム活動、寮生活などでドイツ語を使う機会、使わざるを得ない機会が増え、日に日に身についていった。教材を読んだりするときは難しい単語も必要だったが、日常生活では実はそれほど多くの単語は使っていないということも実際に一年間生活してみて実感した。旅行で3日ほどドイツにいないだけでドイツ語が鈍ってしまうこともあり、継続することがいかに大事かも学んだ。今回の留学では、プログラムの内容としては不十分な部分もあったがその中で私が大事にしたのは、留学したからこそ作れる出会いや関係性だった。ドイツ語だけを文法的に勉強するためだけに留学したわけではないのでお金を出して語学学校に行くことは極力せずに、あくまでもボン大学の提供する申請のみで受けられるドイツ語授業に絞り、不十分な場合はタンデム活動で多くの学生と交流しながら、留学したからこそできる関係性をつくり、その中で同時にドイツ語も習得できるようにした。ドイツ語の中でも、日常生活で方言に触れられるのも、興味があったスイス・ドイツ語（ドイツ語のいち方言）をスイスでは観光客には実はそれほど話さないで、生のスイス・ドイツ語はチューリッヒでは聞けないといった体験も留学したからこそ知れたことだと感じた。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

多くの経験をするために、自分にとっても挑戦となったのが、ギムナジウムでの実践型プログラムの参加であった。このプログラムでは、現地の小学6年生に対して日本文化紹介の授業を行うというものであった。日本についてのクイズや福笑い、折り紙、かるた、お好み焼き作りなど合計で3回の授業を行った。はじめは、そもそもドイツ人の小学6年生が子供向けの遊びに興味を持ってくれるのかという不安から、流暢ではないドイツ語で授業を行うことへの不安などがあり、緊張していたが、実際に行ってみるとドイツ語ができるできないに関係なく一生懸命授業を聞いてくれて、日本人に比べて大人びているという想像とは反対にまだまだあどけなさもあり、そこは日本人の小学生と変わらないのだと思った。今回の留学で、この留学自体も含めて一步を踏み出して挑戦してみることに躊躇してしまいそうな気持ちというのは、既存概念や勝手な思い込みによるものが不安に繋がることが多いからだ実感し、今回留学を通して多くの体験ができたのは良い意味で多くの思い込みを壊せて、ぐんと視野を広げることができたし、挑戦し続ける気持ちを強くした。また、現地の生活での異文化体験も含めて、改めて「あたりまえ」などないと強く実感した。日本を出て、生活を送ることで日本や自分の故郷を客観視することができたのも、これからの将来の選択に大きく作用しそうだと感じた。これからも自分で壁を作らず、一步を踏み出すことを恐れず挑戦することで、新たな可能性を広げていきたいと思う。

留学を通しての感想

アドバイス

- ・タンデム活動をするときは、意外と誘いを待っている学生も多いので自分から声をかけると良いです。
- ・寮の冷蔵庫は、十分なスペースがあってそれぞれのものを保管していても、勝手に消費されたり盗られたりすることもあります。
- ・ドイツは、お店も事務所も会社も、土日もふくめて毎日やっているところは少ないので、帰る際の手続きも含めて、開いている日時は確かめておいたほうが良いです。
- ・イタリアやフランス比べて比較的治安は良いかもしれませんが、慣れてきた頃はとくにドイツでもスリやお金目当ての花配りや署名活動などには注意が必要です。
- ・ドイツで電車利用する際は、Bahnkarte（電車カード）を使うとお得です。
- ・冬の寒さは尋常ではないので、厚手のコートやブーツは必須です。
- ・旅行する先々で家族や友人にポストカードを出すと見返せるし、とても良い思い出として残ると思います。

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種類（学生ビザ）	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 現地 場所（市役所）																								
必要書類、手続き 手続きに要した期間	<必要書類> 奨学金受給証、留学許可証、写真、パスポート、保険証など <手続き> チューターと一緒に <手続きに要した期間> 約2週間																										
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	ボン大学への留学手続き																										
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語 <input checked="" type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他（語）																										
勉強方法	熊本大学に留学してきたドイツ人とタンデムを行う ドイツ語の授業を受講 ドイツ語スピーチコンテストに参加 Youtube等ネットを利用																										
留学先の手続き （必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等）	留学先の担当者と早めに連絡を取っておくと、スムーズに物事が進むと思います。																										
事前の必要経費 （留学前に必要な支払い費用） ※概算費用	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 授業料</td> <td>円</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 寮費</td> <td>約3万円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 語学研修費</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/> 教材費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ビザ申請</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">渡航費（<input type="checkbox"/>片道 <input checked="" type="checkbox"/>往復）</td> <td></td> <td>約10万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">海外旅行保険料</td> <td></td> <td>約10万円（ステップイン）</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他（</td> <td>）</td> <td></td> <td>円</td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input checked="" type="checkbox"/> 寮費	約3万円	<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円	<input type="checkbox"/> ビザ申請	円			渡航費（ <input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復）			約10万円	海外旅行保険料			約10万円（ステップイン）	<input type="checkbox"/> その他（	）		円
<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input checked="" type="checkbox"/> 寮費	約3万円																								
<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円																								
<input type="checkbox"/> ビザ申請	円																										
渡航費（ <input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復）			約10万円																								
海外旅行保険料			約10万円（ステップイン）																								
<input type="checkbox"/> その他（	）		円																								

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	コリアンエア	手配	※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡～ソウル～フランクフルト	到着時刻	【※移動時間（約 12 時間）】
大学（寮）への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（チューター）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	ドイツに到着した日は、フランクフルトから ICE でジークブルク（Siegburg）へ行き、ホテルに泊まりました。翌日、チューターとホテルで落ち合い、ボン大学の寮まで案内してくれました。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他（ ）	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他（ ）
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 その他（ ）	ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 その他（ ）
住居の申込手順	ネットで申し込み		
住居でのトラブル および解決方法	トラブルの相手や寮の管理人と話し合う		
大学への交通手段 （※費用がかかれば費用も）	バス		
生活費および内訳 （概算を円換算）	生活費計 約 8 万円／月 （生活費内訳） 住居費： 約 3 万円／光熱費： 円／通学費： 円 食費： 約 5 万円／通信費： 円／書籍代： 円 その他：（ ） 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 約 3 万円 （徴収された費用の名目： ）		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス （口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など）	日本語が分かるチューターがお世話をしてくれます。 分からないことがあればチューターに頼りましょう。		

3. 留学先の大学について

授業(カリキュラム)の概要について	私が受講した講義は、ドイツ語・日本文学・教育学・社会学です。ボン大学には日本語を教える講義があるので、初級・中級・上級クラスの講義にアシスタントとして参加しました。
履修登録の時期 登録方法	<input type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (月頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学生特例措置 (履修制限、優先措置、 留学生専用のオリエン テーション、チュー ター制度等)	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (具体的には以下のとおり) ・留学生専用のオリエンテーション ・チューター制度 <input type="checkbox"/> 無し
留学先大学でのサポ ート体制について (語学面/学校生活/ 住居・日常生活等)	食堂あり
留学開始後に行った 留学先大学の手続き (学生証、履修登録、 大学 ID の設定等)	チューターと一緒にいる
授業外活動について (サークル、部活、イ ンターン、フィールド ワーク等) ※どうやって探したか、 どのような活動か、入る きっかけなども具体的に	<タンデム活動> 大学のタンデムパートナーを探すオンライン掲示板に応募する

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	就寝	就寝	(5:30起床) 移動	(5:30起床) 移動	(5:30起床) 移動	就寝	就寝
8:00	起床	起床	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	起床	起床
9:00	自由	移動	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	自由	自由
10:00	自由	講義	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	自由	自由
11:00	移動	講義	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	自由	自由
12:00	食堂で昼食	講義	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	食堂で昼食	レストラン で昼食
13:00	講義	食堂で昼食	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	自由	自由
14:00	講義	講義	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	自由	自由
15:00	タンデム	講義	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	森の幼稚園 で実習	自由	自由
16:00	自由	講義	移動	移動	移動	自由	自由
17:00	食堂で夕食	食堂で夕食	食堂で夕食	食堂で夕食	食堂で夕食	自由	自由
18:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	レストラン で夕食	レストラン で夕食
19:00	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由
20:00	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由
21:00	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由
22:00	自由	就寝	就寝	就寝	自由	自由	自由
23:00	自由	就寝	就寝	就寝	自由	自由	自由
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

私の留学の成果は「森の幼稚園の教育を『体験』したこと」です。書籍や動画などから得られる単なる知識ではなく、森の幼稚園の現場に継続的に関わったからこそ、森の幼稚園の教育のカギは、「遊び環境」、「先生の態度」、「安全の確保」だと理解できました。

遊び環境では、【子ども達の主体的で春夏秋冬に沿った遊び】、【遊び方を限定しない遊具（砂場やボール等）】、【室内遊び用の遊具（お絵描き、絵本）】、【異年齢の子ども達から成るグループ】が重要です。先生の態度では、【ロープやハンモック等を用いて子ども達の遊び場所を構築する技術】、【遊び場所の決定】、【「先生」としてではなく、「一人の人間」として、子ども達に付き添うこと】、【保護者と連携し、共に子どもを育てること】が大切です。安全の確保では、【遊び場所の安全確認】、【救急道具・食料・水・着替えなどを常備】、【周辺施設、森林管理士、病院などとの連携】、【先生1人に対して子ども約5人の体制】、【園で守るべきルールの徹底】が大事です。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

留学は大変です。まずは言葉の問題。当たり前ですが日本語が通じません。最低でも現地の言葉で日常会話レベルが必要でしょう。また現地の人達が話すスピードは想像よりとても速いです。しかも授業では習わないスラングが多く出てきます。ネイティブの会話についていくことは大変です。次にお金の問題。留学は本当にお金がかかります。日本から留学先までの移動費から海外保険に至るまで。留学中に旅行したいと考えているなら旅費代も。食費は外食を頻繁にしたら結構かかります。味や食文化が合えばいいですが、そうでない場合は自炊することになるでしょう。他には精神的な問題。環境の変化はかなりの負担です。日本が恋しくなって、ホームシックになったり、現地で友達が出来ずに独りぼっちという事態は珍しくありません。寮の住人とのトラブルや街中でテロに遭う危険性も無視できません、などなど留学の大変さについて、氷山の一角を挙げてみました。もしこの文章を読んでも「留学したい!」という熱い思いをお持ちの方は、ぜひ留学に挑戦してください! 留学で得られる経験は、どれだけ明確な目的を持っているかに比例すると思います。目的があればどんなに大変なことも、きっと乗り越えられるはずです!

留学を通しての感想

多くの方々に支えられたおかげで、留学を達成できたのだと感じています。まずは留学前にドイツ語の勉強を手伝ってくれたドイツ人留学生、「トビタテ!留学 JAPAN」の応募を真摯に支えて下さった恩師の中島先生や国際教育課の方に感謝の気持ちでいっぱいです。私一人の力では決して今回の留学のスタートラインに着くことは出来ませんでした。留学中は1年間の実習を快く受け入れて頂いたヴァルツヴェルゲ森の幼稚園の方々をはじめ、困った時に何でも助けてくれたボン大学の3人のチューター、美味しいシュニツェルと楽しい時間を提供してくれて、9か月で27回も通った行きつけのお店 Lenné Snack、はるばるドイツへ遊びに来てくれた日本の友達、留学中に交流した約50名のトビタテ生、などなど留学中に会った全ての人達のおかげで充実した留学期間を送ることが出来ました。この留学経験は私の人生にとって間違いなく一生輝き続ける素敵な宝物になりました。このような素晴らしい機会を与えて下さった全ての方々に感謝いたします。どうもありがとうございました! Vielen Dank für alles!